



向山富夫 町長

平成31年度 町政執行方針

国においては長引くデフレから脱却したものの、恩恵は大都市に集中している状況にあります。

町においては全収入の7割が依存財源で占められており、柔軟性に乏しい財政構造ですが、さまざまな行政課題に対応するため、今後も自治体経営の安定化に向けた取り組みを進めていきます。

本年度については、新たに始める第6次上富良野町総合計画に掲げた「暮らし輝き 交流あふれる四季彩のまち・かみふらの」をめざすべき将来像として「協働のまちづくり」「穏やかに安心して暮らせるまちづくり」「人が行き交うまちづくり」の3つの視点を基本に、これまでの課題への対応をはじめ、事業実施において緊急性や優先性を十分考慮することにも、今後見込まれる財政需要に対する財源確保の状況を見極めながら、予算編成を行いました。

きれいで安全・安心な生活環境のまち

本年度から2年間、町内会で維持管理している生活灯のLED化に対する助成事業を実施し、温室効果ガスの削減、省エネルギー化を推進します。

日の出公園については、来園者の安全性・快適性向上のため、展望台の階段と休憩舎トイレの整備、オートキャンプ場のバンガロー新設やフリーテントサイトの増設などを実施します。

大規模災害への対策として、指定避難所である社会教育総合センターに自家発電設備を整備するとともに、防災備蓄品などの見直しを行いながら、災害に強いまちをめざします。

みんなが元気になる

健康・福祉のまち

健康寿命の延伸に向けた保健指導のほか、乳幼児の口腔健診とフッ素塗布の拡充、歯周疾患健診の対象を拡大して、虫歯・歯周病予防を推進します。

町立病院の老朽化に伴う施設の整備については、併せて本町の地域包括ケアシステムの充実につながるよう各分野と連携し、整備の方向性を示す基本構想の策定に着手します。

子育て支援では「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもが健全に育つ環境づくりをめざすとともに、子ども家庭総合支援拠点の機能を保健福祉総合センターに一元化し、

さまざまな相談に対応しながら、適切な支援につなげていきます。

ラベンダーハイツについては、経営安定化と信頼される施設運営に取り組みます。

障がい者支援では、成年後見制度の周知を図り、成年後見センターの開設など支援体制の充実に向け取り組みます。

活力と交流あふれる

産業のまち

農業については「第8次農業振興計画」に基づき、新規就農者への支援のほか、農作物の安定生産、高品質化を推進します。畜産環境整備では、道営草地畜産基盤整備事業に取り組み、経営の強化と安定化を図ります。

商工業では「第2次商工業振興計画」に基づき、経営基盤強化を支援する持続化補助事業を拡充するほか、新規開業等支援事業、町融資制度による支援を進めます。

観光・交流では「第2次観光振興計画」に基づき、小説「泥流地帯」の映画化への取り組みを進めるほか、外国人観光客の受け入れ環境の改善に向けて、地域おこし協力隊による観光推進員を観光協会に配置し、インフォメーション機能の強化を図ります。

地域の活力創生を図るため、産業にぎわいの拠点となる複合的な機能を備えた施設の整備に向け、基本計画の

策定に着手します。

発展を支える

生活基盤が整ったまち

JR富良野線の維持・存続については、沿線5市町と協調し、路線存続のための方向性を定めます。

新たに策定した「第2次定住移住促進計画」に基づき、移住体験プログラムの導入や移住を希望する現役世代との就労を併せたマッチングの仕組みづくりなどを行うとともに、地域で安定的に豊かな生活を継続できる取り組みを進めます。

ともに生き、

ともにつくるまち

自治基本条例と協働のまちづくり基本指針に基づき、郷土愛の醸成、まちづくり意識の高揚を図り、町民がまちづくりに参画する機会を充実します。

自衛隊との共生について、上富良野駐屯地の現状規模堅持、さらなる拡充に向けて要望活動を進めます。

十勝岳ジオパーク推進協議会の事務局体制については、美瑛町との一本化を図り、美瑛・上富良野エリアを一体化した取り組みを進めます。

本年度が最終年度となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、これまでの取り組みを総括し、人口ビジョンの見直しと併せて、第2期の戦略策定に向けて取り組みます。

平成31年度予算の内容は、別冊「知っておきたいことしのしごと」をご覧ください。

平成31年度 教育行政執行方針

情報技術の飛躍的な進歩や人口減少・少子高齢化、グローバル化の一層の進行などにより、社会構造や生活環境が急速に進展する時代となっています。このような予測困難な時代に対応するため、新学習指導要領では、子どもたちが自ら未来を切り開く資質・能力を確実に身につける教育を、地域・社会と連携して進めていくことをめざしています。

昨年度改定した「上富良野町教育振興基本計画」「上富良野町教育大綱」では「ふるさとに学び人が輝き 人がつながる かみふらのの教育」を新たに教育理念として定めました。この理念が求める「自然豊かな上富良野で、希望を抱き、自らの夢に挑戦し、実現していく人」「ふるさとへの愛情と誇りをもち、共に支え合い、社会で生き抜く人」の育成をめざし、た教育行政の推進に努めます。

学校教育の推進



総合学習プログラミング教育(上富良野小)

くりのため、昨年10月に「学校における働き方改革 上富良野町業務改善計画」を策定し、教職員の超過勤務や部活動、日常業務を見直すとともに学校閉庁日、定時退勤日を設定します。

全国的にいじめや不登校、ネットトラブルなどの問題が依然として後を絶たない現状があります。町においても教育相談やいじめアンケート調査などに取り組むとともに、児童生徒のカウンセリングや相談体制の充実を図るため、今年度新たに臨床心理士を配置し、子どもたちの心の健康と健やかな成長をサポートします。

教育環境の整備では、上富良野西小学校の教育用パソコン、電話設備の更新、東中小学校の教育用パソコンの更新を行います。

社会教育の推進

各種事業と社会教育施設などを活用

する中で、町民一人ひとりに生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し、町社会教育基本方針に掲げる「生涯学習活動の充実と人を育む環境づくりの推進」「健康づくりのためのスポーツ活動の推進」「心の豊かさを育む文化・芸術活動の推進」に向けた取り組みを進めます。今年度から「第9次社会教育中期計画」に掲げる6領域8分野17項目の施策に基づき、家庭、学校、地域社会、それぞれが持つ教育機能の充

実と連携・融合を進めます。

生涯学習活動の推進では、今年度より海外でのホームステイなどの生活文化体験や語学研修を行い、グローバル化や価値観の多様化に対応していく人材を育成するため、中学生・高校生を対象とした海外派遣事業を進めます。

図書館の運営では、昨年度改定した「第3次子ども読書推進計画」に基づき、児童書の蔵書充実など利用促進に努めます。図書館には「子育て支援・家庭教育コーナー」を設置し、子育て支援と家庭の教育力向上を進めるとともに、図書館職員を学校司書として各学校に派遣し、学校図書館の運営を支援します。

社会教育の基盤整備では、社会教育活動の核となる施設の整備として、島津球場外野フェンス整備、パークゴルフ場芝生環境の機材整備を行い、安全で安心な環境づくりに努めます。



住民会対抗ソフトボール大会(島津球場)

服部久和 教育長

学校教育では「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成をめざす学校教育の推進」を基本方針に「生きる力を培う学びの推進」「家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進」「安心して学び、安全に過ごす教育環境整備の推進」を進めます。さらに認定こども園からのスムーズな接続、小1プロブレムへの対応を図るため「スタートカリキュラム」を作成し実施します。

昨年度は町内全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域の皆さまが教育活動に関わり、子どもたちの成長や教育力の向上が図られるよつな学校運営に努めます。

子どもたちと直接関わる教職員が健康で、能力を存分に発揮できる職場つ

ここに掲載しているのは抜粋です。全文は町の行政ホームページをご覧ください。